

組合員・地域住民が 自慢できる JAいわて花巻になるために!

自己改革を
着実に!

政府が打ち出す農協改革や生産調整の見直し、米の直接支払交付金の廃止など、農業とJAを取り巻く環境が厳しさを増しています。

そんな中、JAいわて花巻は組合員の所得増大をはじめ、地域に根ざした協同組合として組合員や地域が抱えている多様なニーズに応えていくため、右記の3事項を柱に据えて自己改革に取り組んでいます。

JAいわて花巻が目指す自己改革の方向性と、これまでの活動をお伝えします。

「これが
自己改革の
三本柱だ!」

挑戦!自己改革!

農業
農業者の所得増大、農業生産の拡大

くらし
地域の活性化、協同活動の活性化

組織経営
結びつき強化、経営基盤強化

食育戦士ミレットマン

農業

- ◇販売体制の強化
- ◇園芸振興
- ◇営農指導の充実強化
- ◇生産資材のコスト低減

農業者の所得増大、農業生産の拡大

平成30年度
販売額250億円を目指して!

平成28年度 238億円 (計画228億円)	平成29年度 230億円 (計画246億円)
------------------------------	------------------------------

トップセールス

販売促進PRと消費者ニーズの把握を目的に、管内市町行政と連携したトップセールスを実施しました。平成30年度も継続して取り組み、販売体制を強化していきます。



出向く活動

出向く活動をモットーに、月あたり約40先にTAC訪問をしました(平成28年度は28先)。



平成30年度はここを強化!

- ・担い手支援アドバイザーを中心に、作付品目提案や融資相談など、各部門と連携した出向く活動を実施し、JA総合サポートにより担い手経営体支援を強化していきます。
- ・集落営農ビジョンを見直し、地域の現状把握と課題解決を図ります。
- ・経営指導や財務相談はもちろん、研修会(愛農土塾など)も継続実施していきます。



米集荷200万袋運動

実需者・消費者の要望に応えるため、運動を継続実施してきました。平成30年度も200万袋の達成を目指します(平成28年度:184.5万袋、平成29年度:163.7万袋)。

主食用米の推進

生産目安

平成30年産から施行される米の「生産目安」の提示と、生産目安に対して需要に見合った作付誘導に取り組めます。

実需者からの強い要望に応える

「ひとめぼれ」と「あきたこまち」を中心に作付拡大を図ります。複数年契約栽培で安定生産販売
「どんぴしゃり」は(株)吉野家へ全量流通しており、「いわてっこ」も複数年契約栽培を進めます。

平成30年度はここを強化!

営農指導の充実強化

- ・重点品目毎に地域の中核農家を「農の匠」に委嘱(平成28年度:25人がのべ73日の活動、平成29年度:29人がのべ109日の活動)。
- ・農の匠と連携した営農指導の充実を図ります。



園芸振興

一億円販売園芸団地が始動
園芸品目導入の組織が50に拡大!

営農組織向けのモデル組織取組事例研修会、品目別経営指標の提示やヒヤリングを実施しました。



平成30年度はここを強化!

- ・1000万円販売組織を4組織⇒10組織へ拡大し、販売額アップを目指します。
- ・共選品目で収益性が高いアスパラガスとピーマンの面積拡大に取り組みます。

アスパラガスの作付面積増加!
平成23年(基準年)94.1ha⇒129haに



春先の収入確保のため、作付面積180haを目標として農家の所得増大と経営安定を目指してきました。階層別技術指導会や新規栽培説明会を実施し、助成制度なども設けたほか、セブンイレブンへの材料供給で、マーケットインによる販売も強化しました。



平成30年度はここを強化!

- ・12.7haの栽培面積増を目標に推進します。
- ・近年の課題としてある病害対策と栽培マニュアルを作成します。
- ・作付の新規・拡大にかかる初期投資資材を支援します。

果樹産地構造改革計画!
リンゴとブドウの優良品種・消費者ニーズに合わせた改植9ha(目標は7ha)

平成30年度はここを強化!

- ・平成30年度は実需者との安定取引の確立に向け、リンゴ25万ケースの集荷販売を目指します。
- ・販売促進PRや技術革新、食育に力を注ぎ、精力的に活動する若手りんご生産者グループの活躍をはじめ、後継者育成を支援します。



秋植え玉ねぎの拡大推進!



今後も引き続き園芸部門を強化



花き生産拡大とブランド化!

コスト削減

5つの取り組みを実施

表1 水稲基肥愛農土シリーズ価格比較表(単位:円/10a)

	平成28年	平成29年	平成30年
愛農土1号	8,166円	7,614円	6,293円
賢治の教え1号	4,149円	4,149円	4,149円
NKC-17号	561円	509円	506円
合計	12,876円	12,272円	10,948円

注1)各種奨励金は考慮していません。注2)平成30年の価格は現時点の試算に基づくものです。

平成30年度はここを強化!

水稲特栽培肥料を現行品より1袋当たりの窒素成分を上げ、10a施肥量の10kg低減をはじめとしたさまざまなコスト削減に取り組めます。